

インドネシア、海面上昇影響を受ける沿岸コミュニティの衛生環境回復プロジェクト

活動地域  インドネシア

ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発

住民の衛生環境への意識の向上	39%
活動成果の普及	8村
今年度計画の達成度	80%
目標達成度	90%



周辺コミュニティによる適応型トイレの視察

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの感染拡大と深刻な洪水が1か月以上続いたため、活動が制限された。

■ 工夫した点

コミュニティと情報共有するためのSNSの活用や、オンラインセミナー等の活動を実施した。衛生問題の視点から、感染防止や洪水救援活動も実施した。

課題

バンドゥンガン村は総面積の92%が高潮による浸水被害を受けており、排水やゴミで汚れた水が家屋や道路に溜まり、劣悪な環境に陥っている。

目標

住民の衛生環境に対する行動が改善することと、地域行政の効果的な保健衛生対策が講じられることにより、浸水地域の衛生環境が回復する。

活動内容と成果

浸水地への適応型トイレの維持管理のためのコミュニティの能力強化と、周辺の浸水コミュニティへの普及に向けた指導者育成研修を実施。実際に市の予算で3か所に適応型トイレが設置された。また、これまでの活動成果は教材にまとめ、市と村の関係機関、周辺浸水地域の八つの村とも共有した。オンラインで実施した活動成果報告では、中央政府や中部ジャワ州、民間企業の参加も得て、今後の浸水地域の対策や連携について議論を行った。パブリックキャンペーンとしては、SNSを用いてコミュニティと行政、専門家が情報共有を行った。



衛生キャンペーンのポスター

全助成期間の活動を振り返って

浸水地域の衛生問題として最も優先度の高かったトイレの問題に対し、住民参加型で適応型トイレを開発できた。技術や運営管理の手法も含めて経験を教材としてまとめ、周辺の村やコミュニティに普及できている。市や村行政も活動の成果を高く評価し、普及と継続的な支援に協力的である。コミュニティの衛生問題に対する意識が高まり、今後はトイレだけでなく、廃棄物管理や水質改善等にも取り組む予定である。



衛生対策に関する行政機関との議論

JL. TIRTO AGUNG BARAT V NO 21, PEDALANGAN
BANYUMANIK SEMARANG 50268 INDONESIA
E-mail: bintari.foundation@gmail.com
HP: <https://www.facebook.com/bintari.org/>



今後の展望

コミュニティベースの衛生管理は、市や村、専門家の支援を受け、持続的に運営できる体制が整っている。村の衛生作業部会は市の衛生作業部会やその他の衛生関連組織と連携でき、市レベルの衛生計画や政策の協議や意思決定にコミュニティや村がボトムアップでインプットできることになっている。助成活動の知識と経験は、衛生行動計画や教材とともに他のコミュニティや市の利害関係者と共有され、広く普及される。